

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 八百津高等学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和7年10月10日(金) 15:30～16:50
- 3 開催場所 八百津高等学校 会議室
- 4 参加者

会 長	服部 孝義	八百津中学校長
副会長	山口 茂義	錦津コミュニティセンター館長
委 員	上北 泰久	八百津東部中学校校長
	河村 浩之	錦津小学校校長
	佐藤 敏則	八百津町教育長職務代理者
	武市 由紀子	八百津町教育相談アドバイザー
	林 善次	同窓会長
	樋口 隆敏	PTA会長
	曾我 琴音	八百津高校卒業生代表
学 校 側	岩島 章雄	校長
	小林 和豊	教頭
	兼松 義治	学習支援部部長(教務主任)
	井戸 礼子	生徒支援部部長(生徒指導主事)
	吉井 賢吉	進路支援部部長(進路指導主事)
	貝川 友子	記録係

5 会議の概要(協議事項)

(1) 学校評価アンケートについて

アンケート結果から、本校の学校経営・教育方針について生徒は肯定的にとらえている。特に「本校では、一人一人のよさや可能性を伸ばすことに努めている。」92%と昨年86%から6%も高くなっている。また「本校に入学できてよかったと思っている」についても昨年91%、今年度90%と高い。保護者も「お子様はよろこんで学校に行っている」84%(R6:87%)から、学校生活に満足感を持って通学している生徒、またそのようにとらえている保護者の方が多いことを示している。今後も引き続き、生徒が明日も来なくなる学校、保護者が明日も行かせたい学校となるよう魅力ある学校づくりを推進していきたい。

(2) その他

意見1:八百津高校の魅力は。

回答1:デュアルシステム(岐阜県下4校のひとつ)、就職に強い普通科高校である。

中学校部活動にないカヌー部がある。

意見2:ヘルメット着用者が増えた気がするが、指導しているのか、自発的なのか。

回答2:定期的にヘルメット着用の意義を話している。今後も続けていく。

意見3：「生徒一人一人に合った取り組みを熱心に行っている」という感想をもっている。地域の夏祭りを手伝ってくれた生徒は、誠実に取り組んでくれた。放送係をやってくれた生徒は、来年度もやりたいと申し出てくれた。家庭科の授業で行われる交流会「きらりカフェ」は、高齢者の方々が高校生と交流ができることを喜んでいる。また八百津町のごみ拾い、産業文化祭にも参加してくれる。地域でのコミュニケーションを通して、将来の生き方を学んでほしい。生徒たちが地域で活躍しているのに、学校への評価が低い気がする。

意見4：先生方はアイデアを出して、良いことを一生懸命やっている。しかし、ここで説明を聞いた人にしか分からない。地域でのボランティア活動など、ケーブルテレビなどを利用して、大いにPRしていただきたい。特に保護者さんに広めていただきたい。

意見5：役場の福祉課に勤めているが、支援を求めている保護者の方が結構多い。学習以外のところで、持ち物が揃っているところを褒めたり、夏休み明けの面談を行ったり、人と話せなかった生徒が先生やPTAの方との面接指導で話せるようになるなど、このようにサポートしていただける場所が家庭以外にあることは保護者さんにも心強いと思う。志望校を選ぶ決め手になると思うので、引き続き素敵な取り組みを続けて、生徒数が増えていくことを願っています。

6 会議のまとめ

示唆に富んだ、温かい意見を多数得られた。今年度の現在までの取組について理解が得られたので、年度末に向けての取組についても職員で共有し、よりよい学校運営に尽力していく。